



24 題目石・地神・水神(大橋)

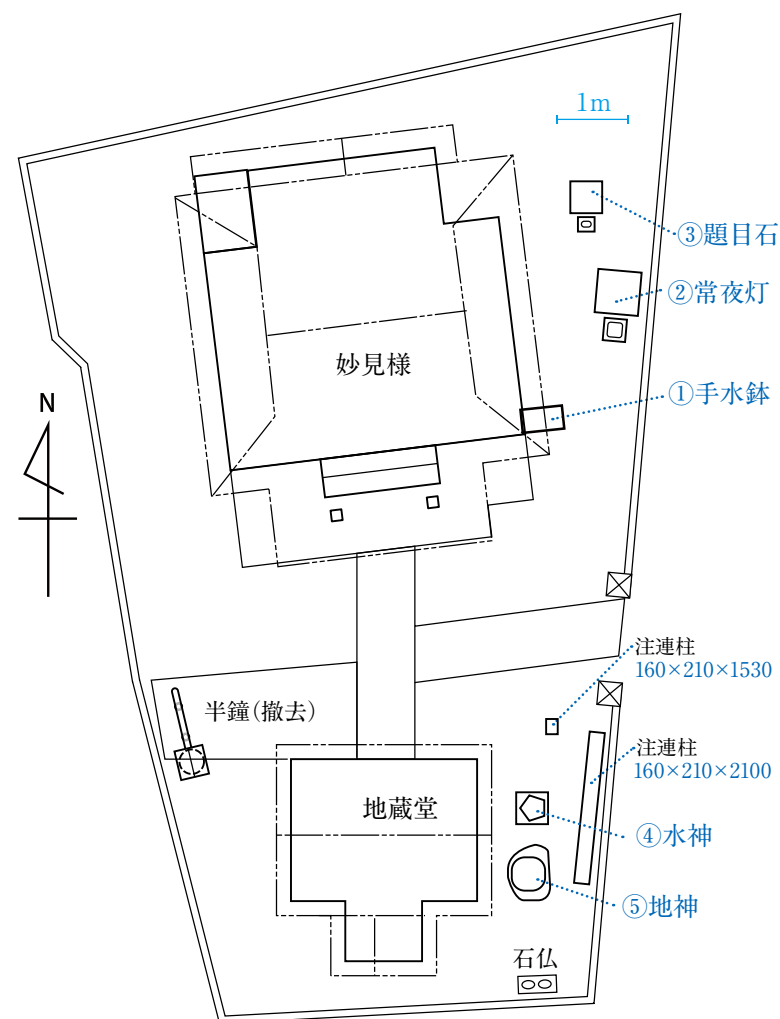
大橋妙見宮・地藏堂 (撫川28-14・28-15)



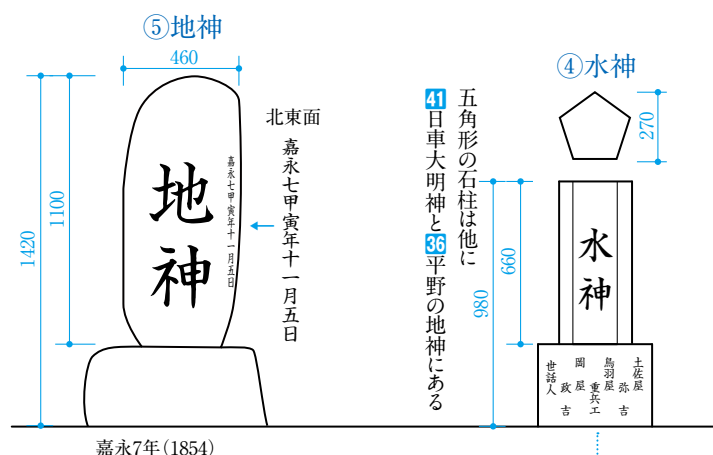
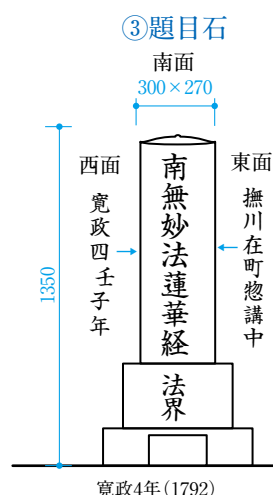
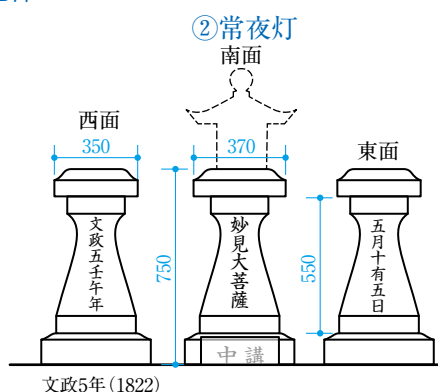
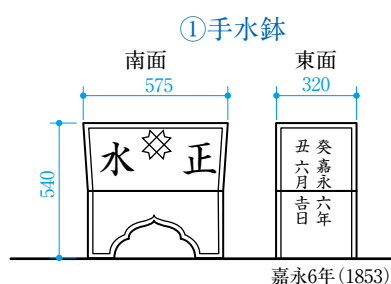
かつて足守川東詰堤上に地藏堂(南側)と妙見宮(北側)が相対して在ったが、昭和43年に河川改修で現在地に遷座された。その後妙見宮は平成18年に改修工事をした。

昭和41年の足守川周辺見取図(きびのさとNo.96より)

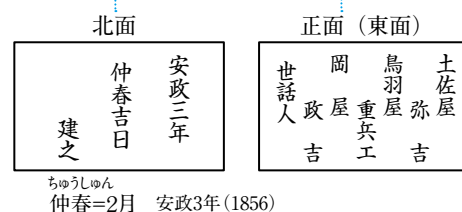




石仏



寄進者は藺草で財をなした人々である。
土佐屋=ござの商人(「土佐屋弥吉」は撫川八幡神社、須佐之男神社の玉垣にもある)
鳥羽屋 狭川の人(ござの商家)
岡屋 東町の人(業種は不明)



大橋妙見宮



御本尊の北辰妙見大菩薩を安置し、右に最上稲荷大明神、日蓮大菩薩。左に清正公大明神、鬼子母尊天の尊像を厨子に崇め奉っている。

この御堂は昔から部落の日蓮宗信徒十二家が揃って祭祀し、毎月十二日に御講の行事をしている。(きびのさとNo.96より)

鬼子母尊天
清正公大明神
北辰妙見大菩薩
最上稲荷大明神
日蓮大菩薩



扁額



選斎 祥雲

櫺板・横三尺一寸、竪一尺三寸

しょうんあん 祥雲 芥 (芥=庵) せんさい 選斎

当州撫川初日方上人也産土
是故上人將勸請最上稻荷宮
於撫川大橋堤下心余久矣
今茲元治紀元甲子春土木相叔
祠門先造且結茶縣扁號祥雲芥
上人請余揮毫
拙不解者以還之
而又彫其字者補金者誌其姓名千丈面如它
庭瀨 家宰 森岡喜多右衛門武從
一名延 字世宝 号選斎
彫字 同藩 同場平右衛門正文
鋪金 同藩 松宮卯右衛門

改修工事の記録



妙見様 改修工事
平成十八年三月二十日 着工
平成十八年四月二十四日 完成
寄附 波勢博治 一金壹萬圓也
御供 吉備仏照堂 清酒一本
総経費 一金七拾壹萬四仟九百叁拾參圓也
妙見様講中
太田喜洋
黒瀬一男
熊代 清
坪井登美夫
坪井圭一郎
坪井達二
平松良一
三宅 勝

裏面に墨書(きびのさとNo.96より)

大橋地藏堂



北向きの堂の中に石造座像の地藏尊を台石の上に安置している。

創建は寛永年間と思われるが、堂の棟札（現存未確認）に「天井宮繕 大正十年旧三月東 大橋町 女講中」とある。（きびのさとNo.96より）

地藏尊

